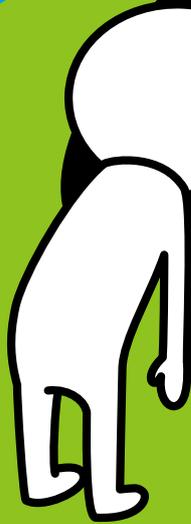


野外×アート×まちなか

トロールの森2021

深く息をする、

Breathe deeply—



野外 × アート × まちなか

トロールの森2021

テーマ 深く息をする、Breathe deeply—

2021.11.3 (水・祝) - 11.23 (火・祝)

都立善福寺公園(上池)

杉並区立桃井第四小学校

西荻窪～善福寺周辺店舗・ギャラリー

主催 トロールの森実行委員会

後援 東京都東部公園緑地事務所

杉並区

杉並区教育委員会

協力 都立善福寺公園

杉並区立桃四コミュニティスクール

関東バス株式会社

JR西荻窪駅

遊工房アトスペース

ゆうゆう善福寺館

中央線あるあるプロジェクト

助成 企業メセナ協議会 助成認定活動

芸術文化振興基金助成事業

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

杉並区新しい芸術鑑賞様式助成事業

【助成】



【協力】



深く息をする、

「トロールの森」は杉並区のJR西荻窪駅周辺から都立善福寺公園にかけての地域を舞台にした国際野外アート展。2002年にスタートして今年20周年を迎えます。11月の3週間、都立公園を舞台にした野外展をはじめ、駅や商店街のまちなかで出会うアートや身体表現、まちの魅力を発見するプロジェクトなど、多彩なアートに触れてください。2021年のテーマは「深く息をする、Breathe deeply-」。深く息をすることで、緊張を解く。心のモヤモヤを吹き飛ばす。頭をスッキリさせる。自分の気持ちを見定める。新たなスタートを切る。コロナ禍で内に閉じこもりがちだからこそ、アートにより深く息をすることで、内と外と交感し、世界の息吹をキャッチしたい。自分自身の内奥をじっくり見つめたい。そんな作品の数々があなたを待っています。

Breathe deeply—

Breathe deeply, releasing tension. Drive away the fog that clouds your mind. Clear your head. Discern your feelings. And make a new start. At a time when people are turning inwards due to covid-19, we want art to provide a moment to inhale deeply, arousing sympathy between what is within and what is outside, and allowing us to capture the vitality of the world. Art encourages us to look deep within ourselves. The art works that make you want to breathe deeply are waiting for you.

野外 × アート (都立善福寺公園)

Open Air Exhibition

野外ならではのダイナミックな作品や自然を背景にしたパフォーマンス、公園の秋の深まりとともに表情を変えるインスタレーションに注目!

Keep a look out for dynamic works of art and performances befitting the park setting, and installations that alter their expression together with the deepening autumn colors!

空間表現

- 1 黒野裕一郎
- 2 武蔵野大学水谷俊博研究室
- 3 竹厚桂子
- 4 三石玄
- 5 宮寄浩(ボムライウエスト)
- 6 てまひま不動産*
- 7 中尾紫香
- 8 Martina Kändler
- 9 杉本憲一
- 10 高田研二郎
- 11 戸室太一/オルモット:
- 12 市川寛
- 13 小野真由*
- 14 中西晴世
- 15 中川彩萌
- 16 深沢義一
- 17 加藤亜海
- 18 田附希恵
- 19 栗田昇*
- 20 永林香穂
- 21 KK
- 22 丹尾敏
- 23 日沼智之
- 24 高島亮三
- 25 落合有紀
- 26 第二次谷杉(ミミトメ)*
- 27 T&E

- 28 飯島祐奈
- 29 桃四コミュニティスクール
- 6 寝転び体験
- 13 パフォーマンス
- 19 ワークショップ/コラボ演奏会
- 26 セリフ収集



身体表現

- A アトリエそら+(プリュス)
- B 荒木ひとみ
- C 池の畔の遊歩音楽会チーム
- D オンドズ
- E カワムラアツノリ
- F こめ
- G 小山このか
- H さくらアリス
- I 初期型
- J ぜんぶくトリヲ+かぼーれかぼーれよいと
- K 武井よしみち+吉川陽一郎
- L 東京バンドネオン倶楽部
- M ナイトスキップ
- N ハルカバード
- O 三毛猫の音読屋(洲永敬子)
- P 桃井第四小学校の児童たちとRITENUTObytac
- Q 表現集団りでんぶしょん
- R kosaten+レンカ
- S 佐藤ひろみとPINMY倶楽部

身体表現 タイムテーブル

	10	11	12	13	14	15	16
3 (水・祝)	アーティスト・デイ 10:00-16:00						
6 (土)							
7 (日)							
13 (土)							
14 (日)							
19 (金)							
20 (土)							
21 (日)							
23 (火・祝)	アーティスト・デイ 10:00-16:00						

アクティビティエリア

- 公園内周遊
- クヌギ広場
- 遊具広場付近
- 野外ステージ

黒野 裕一郎

Yuichiro Chrono

ラストダンス

【舞台】 木工

最初で最後のつもりでここまで来ました。
これから出発する誰かの後押しとなれば幸いです。

Last Dance

【Stage】 Timber

I have come this far with the intention of making each work my first and last.
I hope this work will inspire someone who is about to begin.



1981年 大分県生まれ
2005年 東京藝術大学大学院
美術研究科壁画専攻修了
2007年よりトロールの森に参加

竹厚 桂子

Keiko Takeko

京都の田舎で幼少期を過ごした後、東京へ。97年渡米。00年マサチューセッツ州立大学卒業。帰国後、働きながら再び大学へ(武蔵野美術大学通信教育課程)。12年より作品を発表。また同年にすがぼん流マイム入門。身体表現も始める。自然、自分、人、関わりをテーマに作品を制作している。



To The Sky

【インスタレーション】 ミクストメディア

木は空に向かって生えている。木それ自体はそこから動くことはできないけれど、その呼吸は枝から葉を伝ってやがて空の一部になる。木と同じように空を見上げて深呼吸すれば心は自然と元気になる。現状を受け入れて、環境と調和しながら空気をきれいにしてくれている木に感謝と敬意をこめて。



To The Sky

【Installation】 Mixed media

Trees are growing towards the sky. Though they cannot move from there, their breathing will become part of the sky through the leaves and branches. If you look up at the sky and take a deep breath like trees, your mind will be fine naturally. With gratitude and respect for trees which accept current situation, harmony with the environment, clean the air.

武蔵野大学 水谷俊博研究室

Musashino University, Toshihiro Mizutani Lab.

建築の設計を専門分野としながら、空間デザイン、木工制作、アートワークショップなどを実践する、建築家の水谷俊博が主宰する研究室。代表建築作品に、「むさし野文学館」(2020年グッドデザイン賞受賞)、「里山フィールドミュージアムビジターセンター」(越後妻有2015)、「アーチの森2010」(武蔵野市CLEAN FES)等。

Still Breathing

【インスタレーション】 木材、布

深く息をするという状態を木材と布を用いて表現したインスタレーション。木のフレームに人々が佇み、深呼吸することで新しい発見を促す。



Still Breathing

【Installation】 Timber, cloth

This installation employs wood and cloth to express the action of taking a deep breath. The work will encourage new discoveries as visitors stand in the wooden frame and respire deeply.



三石 玄

mitsuishi haruka

柱への変転

【インスタレーション】 石灰、砂、土、顔料、セメント、苧、漆、麻布、鉄

構造を晒しながらも、いびつに立つ。いずれかの建物の一部であったかのように、これから何かならうとしているかのように、空間にしるしをつけながら装飾が立ちあがっていく。それは、つまり、あるいはもしかしたら、一種の遠見となるかもしれない。

Transition to pillars

【Installation】 lime, sand, soil, pigment, cement, fibers, lacquer, linen, iron

While exposing its structure, it stands distorted. It resembles part of a building, or seems to be trying to become something. While marking the space, decorations appear. Maybe, just maybe, it will become a kind of distant view.

東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科 修士課程 絵画専攻油画(壁画)修了。石灰や砂、顔料などを用いてフレスコによるインスタレーションを発表。芸術はどこからきたのか、どうして私たちはものをつくるのか、考えるように制作している。



宮崎 浩(ボムライウエスト)

HIROSHI MIYAZAKI(BOMBRAI WEST)

立命館大学土木工学科卒業後、大阪府公立小学校教員。東京美術学校にて現代アートを学ぶと同時にアート活動開始。私立小学校図画工作科専科教員を経て、現在、造形教室「あづち図工室」、食・観賞農園「あづちガーデンファーム(仮)」開設準備中。



God Bless You

【インスタレーション】 竹、木材、鉄線

本作品のエオリアンハープを奏でる風は、自然の「換気機能」であり、私たちに向けた救いの息吹、いたわりであるかもしれません。本作品では、現代の社会、あなたに対しての「God's Breath」を感じてもらえればと思います。



God Bless You

【Installation】 Bamboo, wood, iron wire

The wind that plays the Aeolian harp in this work is the "ventilating function" of nature and may be the breath of salvation and kindness for us all. I hope this work will give the impression of "God's Breath" both to visitors and contemporary society.

中尾 紫香

NAKAO Shikou

1977年、東京都出身。植物を用いたインスタレーションを制作。いけばな草月流師範。



自然的膜

【インスタレーション】 竹

昨年より薄い膜越しに呼吸をする日常を過ごしている。人々が佇み休む場所、「パーゴラ」を竹による薄い膜で覆った。



photo by Masahiro Ikarashi

Natural film

【Installation】 Bamboo

Since last year, we have been spending our daily life breathing through a thin film. This installation envelops the "pavilion," a place where people stand to take a rest, with a thin film made of bamboo.

てまひま不動産

Temahima fudosan

ベンチチブレス

【インスタレーション】 木材(SPF材 2×4)、ミラーシート、ベニヤ、ステンレスパイプ

寝そべて「空気を感じる」ためのベンチ。見上げれば、風に揺れる枝葉や木洩れ日、空気が描いた水面の画像が目に見えるでしょう。様々な生物がそれぞれの居場所で生きている。自分と同じ空気を吸ってここに在る。一つにつながった環境を実感しながら深く息をしてみませんか。筋トレ用に作られてはいませんが、使い方はあなた次第。

Bench breath

【Installation】 Wood (SPF wood 2×4), mirror sheet, veneer, stainless steel pipe

A bench to "feel the breeze" while lying down. Looking up, you can see the sight of leaves, the sunlight filtering through the trees, and an image like the water's surface drawn by the air. Myriad life on earth, each living in its niche. They are here, breathing the same air as us. Why not breathe deeply while contemplating the environment that connects us all? This bench is not for muscle training. How you use it is up to you.



内田 尚宏

1961年川越生まれ。東京藝術大学建築科卒業。てまひま不動産西荻事務所にて中古マンションのリノベーション担当。

てまひま不動産

自然の子カラを活かし、風通しや体感温度を整えた暮らしを提供している会社です。



Martina Kändler

- 2016 Diploma of fine arts, Academy of Arts Nuremberg
- 2015 Meisterschuelerin
- 2003 Master of Arts in art history and art education, University of Augsburg
- 1970 Germany

digital cyanometer

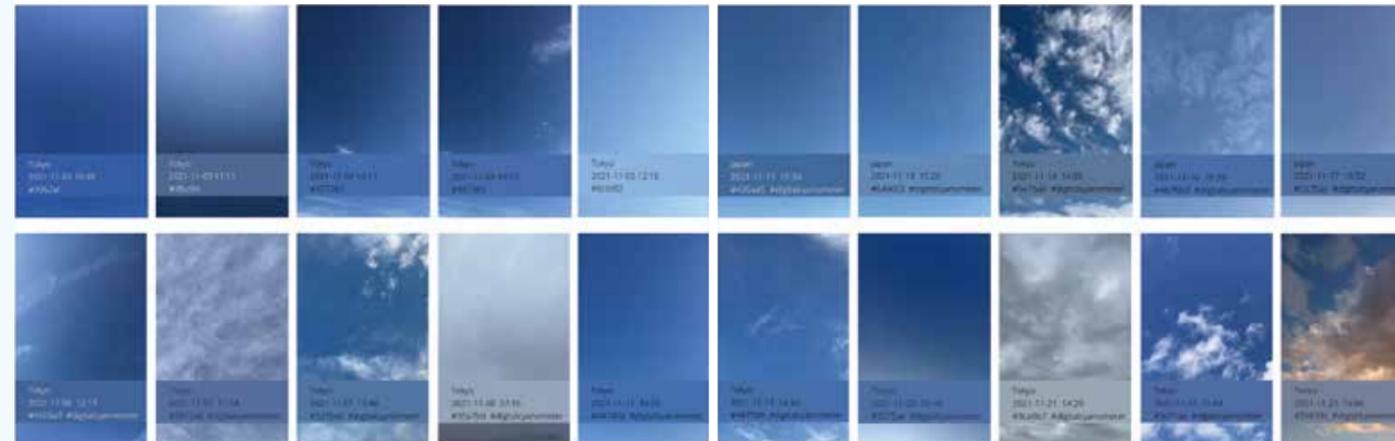
【インタラクティブ・webサイト】

空はいつも私たちの思いや願いが映し出される場所ですが、その色をちゃんと意識することはめったにありません。その青の色は絶えず変化し、数分以内にも色相が変わってしまいます。木々にさえぎられることなく青が続く空の写真を撮って、www.digitalcyanometer.com. のサイトにアクセスしてください。そこで空の青とマッチするシアン計の番号を見つけて、シェアしましょう。

digital cyanometer

【Interactive / web site】

The sky has always been a place of projection for our thoughts and wishes, but seldomly we realize its color. That Blue is constantly changing, within minutes the hues are transformed. Take a picture of the sky, make sure it is only blue and has no trees on it and then go to www.digitalcyanometer.com. Find your matching code of blue and share it.



杉本 憲一

Kenichi Sugimoto

北海道北見市出身。武蔵野美術大学卒業。イベントやデザインをはじめ、イラストや絵本などの作家活動も行う。第13回世界ポストトリエンナーレトヤマ2021入選。第三回文房堂アワード/ターレンスジャパン賞。六本木デザイナーズフラッグ・コンテスト2021/理事長賞。シブヤ・アロープロジェクト選出。第8回NOYES絵本コンクール/大賞 他。



ゆらめく暖簾

【インスタレーション】 布

巨大な暖簾が揺らめくことにより、風の存在を感じる作品です。木々の中に動物や植物を存在させることにより、その場の空気感や情景が様変わりし、いつもの公園が異世界に見えるはず。これにより改めて森の中にいることを認識し、緑や風を体いっぱい感じてもらいたいです。



NOREN shimmering in the wind

【Installation】 Cloth

This work subtly changes the commonplace park to look like a different world, in which the presence of wind is felt through the shimmering of a giant noren curtain that alters the scenery through the depiction of animals and plants.

戸室太一/オルモット:

Taichi Tomuro/orumot:

1961年生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。レンゾ・ピアノ・ビルディングワークショップ・ジャパン、アルヴァロ・シザ・アルキテット(文化庁芸術家在外研修員)、谷口建築設計研究所などを経て、2006年戸室太一建築設計室設立。2021年オルモット設立。



どんぐり収集家の家

【インスタレーション】 プラスチックコップ、ダブルクリップ等

大きなカシの樹の下に何かがあります。何かの家でしょうか？ ちょっと中に入ってみましょう。家の床にはどんぐりがいっぱい。「深く息をして」静かに座っていると、何かの音が聞こえてきませんか？ そして屋根から何か降ってきます。あっ、どんぐりだ。そう、ここは「どんぐり収集家の家」なんです。公園の宝物の家なんです。



撮影:鈴木賢一(Kenichi Suzuki)

House of the acorn collector

【Installation】 Plastic cups and binder clips, etc.

Is that a house of some kind under the oak tree? Upon entering, you will find lots of acorns. Yes, this is the house of the "acorn collector."

高田 研二郎

Kenjiroh Takada

1985年生まれ。日本画の素材や支持体、染料等を使用したドローイング作品を主に制作し、平面だけでなくインスタレーションの発表も続けている。



トロールの幻影

【インスタレーション】 ストレッチフィルム、蛍光塗料

かつてこの森で遊んでいたトロールの幻影たちを描こうと思います。



Ghosts of Trolls

【Installation】 Stretch film, fluorescent paint

I am going to depict the ghosts of Trolls that once played in this wood.

市川 寛

Hiroshi Ichikawa

ランドスケープデザイナー。人と自然、両者の質を向上させるデザインを目指しています。設計実務の他、ランドスケープデザイン誌にて海外作品を紹介する連載を執筆中。



detour

【ランドアート】 木

ひと息つける場所である善福寺公園。回り道をした先で出会った作品が人と自然の関係について考えるきっかけとなればいいなと思っています。



detour

【land art】 Timber

Zenpukuji Park is a place to take a break. I hope that the work visitors encounter on this detour will inspire them to consider the relationship between people and nature.

小野 真由 onomayu

1985年神戸市生まれ。多摩美術大学、信楽窯業試験場にて作陶を学ぶ。



土器文字「スーハー」

【インスタレーション】土

私たちは言葉で示したり、表現することで見えないものを見えるようにすることが可能です。今回のテーマである息はおおよそ目に見えませんが、擬音化、立体化で大きな息を表しました。同じ方法で桃井第四小学校2年生たちも制作しました。



Earthenware character "Suha"

【Installation】Clay

We can visualize what we cannot see by using words and various expressions. The theme of this exhibition is "breath," something invisible to the eye. In this work, I have expressed a "big breath" as onomatopoeia realized in 3D form. Using the same method, second graders of Momoi Daishi Elementary School made their own versions.

中川 彩萌 Saiho Nakagawa

1985年、武蔵野美術大学日本画学科在学中。いけばな草月流入門。2005年、草月流作家 水野理美と植物インスタレーションユニット「nekopro」を結成。ねこじゃらしプロジェクトを展開中。



バブルリングのつくりかた

【インスタレーション】藤

地球が「ほっ」と息を吐いたらイルカが作るバブルリングのように見えるかもしれない。そしてやがて雲になるそのわかを見上げて「ほっ」と息を吐いてみよう。



PHOTO: NAKANO YOSHIKI

中西 晴世 Haruyo Nakanishi

自然の命の循環や展示する場所にもつわる題材をテーマに作品を制作している。近年の主な展示: 2019 横浜-テキサス国際交流展(神奈川県民ホールギャラリー)、遊・桜ヶ丘 現在進行形(東京) 2020 現代アーティストセンター展「ヒロシマ」(東京都美術館、東京)



みんなつながっているよ!

【インスタレーション】和紙、紐(ロープ)

コロナ禍が続いている。今こそ、アートの森に息づく命の力を感じてほしい。ほら、見えなくなっていた人との繋がりも感じるでしょう?



Everyone is connected to each other!

【Installation】Washi paper, rope

The coronavirus pandemic continues. Now is precisely the time to feel the vitality of life that breathes in this art-filled wood. See, don't you feel a connection with people that couldn't be seen before?

深沢 義一 YOSHIKAZU FUKAZAWA

彼方へ

【インスタレーション】御影石 ほか

その先は異次元。大きく息を吸って、かなたへ思いを馳せて。分裂して行くのは、破壊ではなく未来へのエネルギー

To the other side

【Installation】Granite, etc.

Beyond exists another dimension. Take a deep breath and think about what lies ahead. What splits apart is not destruction, but energy for the future.

1955 東京生まれ
霜田静志 児童心理学絵画教室
多摩美術大学大学院デザイン科修了
金属造形作家集団シリオ
アトリエベガとして西荻善福寺地区に
看板等多数



加藤 亜海

Ami Kato

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻所属。卒業設計のテーマで美濃和紙を扱ったことをきっかけに、その美しさや職人の精神性に魅了されました。和紙で包まれた空間に可能性を感じ、今回の作品を制作するに至りました。



和紙の葉

【空間作品】 和紙

善福寺公園の森の中に、和紙で優しく包み込まれた小さな空間を提案します。この和紙でできた小さな空間では、公園の自然を、そして自分自身を、より深く感じることができます。



Leaf made of Washi paper

【Installation】 Washi paper

I propose a small space gently wrapped in washi paper in the woods of Zempukuji Park. In this modest space, you can feel the nature of the park and your own being more deeply.

栗田 昇

KURITA Noboru

1976 武蔵野美術短大工芸工業デザイン科卒業
1983 自動車会社入社、インテリアデザイン開発従事
1991~96 米国駐在
2011 退職、木材を使って造形活動を開始
2014~ 国分寺 お鷹の道に水車を設置(週末)
2014・15 日本クラフト展入選
2016~ トロールの森 出展
2020~ アウトドアギャラリー@お鷹の道 企画プロデュース



Water Laboratory「リズム」

【インスタレーション】 木材

自然の力とコラボレーション、回る水車がリズムをきざみ 瞳を閉じて深呼吸、体の中でリズムを感じ、いつもの水辺が楽しく弾む



Water Laboratory "Rhythm"

【Installation】 Timber

In collaboration with the power of nature, the spinning waterwheel creates a rhythm. Close your eyes, take a deep breath, feel the rhythm in your body, and the commonplace waterfront will bounce with joy.

田附 希恵

Tatsuki Kie

東京都杉並区生まれ。2018年女子美術大学大学院卒業。金属彫刻家。金属の棒を用いて空間に線を引いて造形している。空間に絵を描く方法を模索中。



Drawing: Energy

【彫刻】 鉄

この世界にはたくさんのエネルギーが溢れています。例えば池の中、水の動き。風の囁き、そこに住む生物たちの命のパワー。私たちが息を吸って吐くときに生まれるエネルギー。エネルギーに形はありません。けれどエネルギーはものを動かし、目に見えるかたちを作ります。善福寺公園のエネルギーはどんなかたち？



Drawing: Energy

【Sculpture】 Iron

This world is filled with energy. Take the movement of water in the pond, for example; or the whispering wind, and the vitality of creatures that reside there; or the energy we create when we inhale and exhale. Energy has no shape. But it moves things and creates visible forms. What form does the energy of Zempukuji Park take?

永林 香穂

NAGABAYASHI Kaho

1990年東京都生まれ。2016年東京藝術大学大学院修了。東京を拠点にして彫刻制作を行う。表現はフォーマルなものからカジュアルなものまで、主に人間をモチーフにした表現をしている。



ちゅーリップ

【彫刻】 ミクストメディア

「頭の中で生まれた、枯れない植物」を作っています。すっかり人の口を見る機会が減ったので、華やかな会話をするお花を作りました。



Chu-RIP

【Sculpture】 Mixed media

I'm working on a "plant born in my head that will never die." Since there are now fewer opportunities to see people's mouths, I created a flower that makes spectacular conversation.

KK

広島県出身。東京造形大学卒業。現在、企業のクリエイティブディレクターとして、広告やブランディングを担当する傍ら、作品を制作している。



Boats on the pond

【インスタレーション】紙・瓶

水に浮かぶボート。「折り紙のボート」を浮かべた瓶が、公園内に点在します。「池のボート」と「紙のボート」の共存が楽しめます。



Boats on the pond

【Installation】 Paper, bottles

Boat floating on the water. There will be jars with "origami boats" floating at various sites in the park. Visitors can enjoy the coexistence of the pond and the origami boats.

日沼 智之

HINUMA Tomoyuki

2009年、キュレーターの日沼禎子とともに株式会社LINENARTを設立。代表取締役。建築施工管理、アート作品設置・施工を中心に活動。2010年、高嶺格『Free House』ツリーハウス設置(青森市、国際芸術センター青森) 2011年、川俣正『東京インプログレス:汐入タワー』東京アートポイント計画(東京都、荒川区) 2012年、指輪ホテル『洪水』ブラジル4都市ツアー/舞台監督、(ペロ・オリゾンテ、アララクアラ、サン・カルロス、サンパウロ) 2012年、妻有アートトリエンナーレ2012:大地の芸術祭 テクニカルインストール(新潟県) 2015-16年、さいたまトリエンナーレ2016 テクニカルインストール



大きく息を吸う

【インスタレーション】竹

公園に半屋外の竹のドームを制作。ここは光と影を受けながら大きく息を吸う空間になる。天気によってその表情を変えていく。



Take a deep breath

【Installation】 Bamboo

An installation taking the form of a semi-outdoor bamboo dome in the park. While struck by light and shadow, the space will take a deep breath. Its appearance will change depending on the weather.

丹尾 敏

nio bin

みちしるべ

【インスタレーション】鉄

道に迷ったとき 風で髪を洗うと進むべき方向を教えてくれる
小石のサインが風の通り道を教えてくれる
耳を澄まして 深く息を吸い
風と一体になれる瞬間を

Signpost

【Installation】 Iron

When I'm lost, the wind blowing my hair tells me which way to go.
A sign from a pebble will tell you where the wind is blowing.
Listen carefully, take a deep breath
Be one with the wind for a moment.



水戸市生まれ。教育学専攻後、女子美術短期大学金属専攻。鍛冶屋修行終了後、2017年 知多半島・常滑市に移住しniobinstudioを設立。「鉄を扱うということ」について思考する日々を送る。個展・グループ展で活動しながら生活に取り入れる鍛冶屋仕事も行う。



高島 亮三

TAKASHIMA Ryoza

1972年、東京都保谷市(現・西東京市)生まれ。1996年、多摩美術大学デザイン科グラフィックデザイン専攻卒業。2001年頃より既製品を利用した反復・増殖傾向の作品を発表。好きな事/路傍の石採集、コケ鑑賞。好きな有名人/岡村孝子



COVIT-19 COLOR VISUAL OF TROLLS 19

【モニュメント】材木にペンキ、ケーブルタイ

「トロールの森」初年の2002年から昨年までの19年間に、善福寺公園上池会場で発表された作品総数(空間表現・身体表現)は延べ334点に及ぶ。それらの表現は、毎年その都度、現れては会期終了とともに消えてしまう。20周年の今年、そのような334点のトロール(表現)達へ、相応しき一過性の記念碑を捧げたい。

COVIT-19 COLOR VISUAL OF TROLLS 19

【Monument】 Paint on wood, cable tie

In the nineteen years of Trolls in the Park from its inaugural year in 2002 until last year, a total of 334 works (site-specific and performance-based) were presented at the upper pond venue of Zenpukuji Park. Each year, these expressive forms appear with each new edition, only to disappear when the exhibition period ends. In 2021, on the twentieth anniversary of the event, we would like to dedicate an ephemeral monument befitting all 334 "trolls" (expressive works).



落合有紀

OCHIAI YUKI

感情ボックス(喜怒哀楽)

【立体作品】 格納庫、絵画、ドローイング、日用品

消火器格納庫を模して喜怒哀楽の感情を表現した4つのボックスを公園内に展示。静かにひっそりと佇む姿を発見し、扉を開けて観覧できます。

Emotion Box (joy, anger, sorrow, sadness)

【Threedimensional art】 Hangar, painting, drawing, daily necessities

Four boxes representing the emotions of joy, anger, sorrow, and sadness are displayed in the park in the form of fire extinguisher hangars. You will discover them standing quietly in the shadows, and the contents can be viewed by opening their doors.



日本デザイン専門学校卒業後、国内展示やレジデンスに参加。主に絵画を中心に身近にあるものを使用してインスタレーション表現などを発表。



第二次谷杉(ミミトメ)

Dainiji Tanisugi (Ears+Eyes)

息するように365のセリフ

【演劇インスタレーション】 ミクスト・メディア

演劇の枠組みを援用した観客参加型の演劇インスタレーションです。指示書を見てセリフの書かれた石を選びカメラの前でそのセリフを読んでください。動画は編集されネット上にアップされます。石は持ち帰りセリフを読みながら、そっどこかに設置してください。数日後、その石の様子を見に行き確認しTwitterにアップしてください。(＃トロールの森)

365 lines of dialogue as you breathe

【Theatrical installation】 Mixed media

This is a participatory theater installation that uses the framework of theater. Please read the instructions, choose a stone with lines painted on it, and read the lines in front of the camera. The video will be edited and uploaded to the internet. Take the stone home and gently place it somewhere while reading the lines. A few days later, go and check on the stone and upload it to Twitter.

2010年: ミミトメ名義で活動開始。

第1回公演「パンとサーカス、その他の事」

2011年: 第2回公演「マゴビキ、あるいは他人の靴の履き方」

2019年: トロールの森2019

野外メアート「声の小さな舞台俳優」、まちなかメアート「ガイドツアーもどき演劇 身振り採集」

2020年: トロールの森2020

野外メアート「あの時の鳥家族」

2021年: 中之条ビエンナーレ「一人称劇場」



T&E

桜沢ひいとYoshyの2人によるアートunit。近年はUVライトを使用し、「見えるもの/見えないもの」をテーマに認知に関わる作品を制作している。

桜沢ひいる

多摩美術大学卒業。法政大学大学院修了。まちづくりに関しての論文も執筆している。

Yoshy

慶應大学大学院工学研究科修了。

1万年の呼吸

【インスタレーション】 アクリル板、UVライト、UV塗料 他

善福寺公園周辺の過去 1万年の足跡(歴史)を表す装置です。見る人の呼吸に共振するようリズムで明滅するライトは、この地の自然やその時代時代に生きてきた人々の様々な息吹や思いを鮮やかに現出させます。

The Breath of 10,000 Years

【Installation】 Acrylic board, UV light, UV paint, etc.

These are devices that shows the footprints (history) of the past ten thousand years around Zenpukujji Park. The light repeatedly fades in and out with a rhythm that resonates with the viewer's breathing. It vividly reveals the nature in this area, and the breath and thoughts of people who have lived in each era.



展示作品に連動したパフォーマンス&ワークショップ

空間展示作品とコラボしたパフォーマンスやワークショップが行われ、違う角度から作品を味わえました。

小野真由

土器文字「スーハー」

【日程】 11.3(水・祝)/20(土)/23(火・祝)

夏万博さんによる「スーハー」をテーマにしたパフォーマンス



栗田昇

Water Laboratory「リズム」

【日程】 11.6(土)

ドラムサークルファシリテーターの佐々木かおるさんによる参加型ワークショップ演奏会「池のほとりで～みんなでライブ～」

【日程】 11.11(木)

ジャズミュージシャン・岡淳さんによる篠笛/アルトサクソフとリズム水車のコラボ演奏会



アーティスト・デイ

【日程】 11.3(水・祝)、23(火・祝)

コロナ禍によって、例年開催していたアートツアーは密になるリスクがあったため、昨年に引き続き中止。かわって11月3日(水・祝)と23日(火・祝)を「アーティスト・デイ」とし、作家が作品付近に待機し、訪れた人に自作を紹介しました。



アトリエそら+ (プリュス)

Atelier SORA Plus

アトリエそら

善福寺にある造形教室。プロジェクトでは桃四小の子ども達とワークショップで制作を担当。代表は早内佳子。

+ (プリュス)

海外の「Free Little Library」に想を得た、本を楽しむためのワークショップとアクティビティのチーム。



本と本棚を巡る冒険 第5巻

【展示・パフォーマンス】

子ども達とのワークショップでマイ本棚を制作し公園に展示する。朗読やリーディング劇で、野外で言葉の音を楽しむ空間を作る。「トロールの森2021」参加アーティストによる、声を巡るミニシンポジウムも開催。



Adventure through books and bookshelves Volume 5

【Exhibition and performance】

A workshop with children in which they create their own bookshelves and display them in the park. We will create a space to enjoy the sound of words in the open air through reading sessions and closet dramas.

池の畔の遊歩音楽会チーム

Team Promenade Concert around the Pond

鳥越けい子

自然に根ざした生活文化の継承と新たな活用を視座に入れた環境デザイン、まちづくりやワークショップ、コミュニティ・アートなど、各種プロジェクトを展開しながら、近代文明の枠組みを再統合するサウンドスケープ概念の可能性を追究している。善福寺の住人、ラジオばちメンバー。青山学院大学総合文化政策学部教授。

鷺野 宏

アートディレクター/デザイナー。芝浦工業大学卒(曾根幸一・環境設計研究室)。代議士秘書を経て、現在は、グラフィックデザインや「まち」に関するアートプロジェクトを中心に活動。主宰する「都市楽師プロジェクト」では、音や音楽をきっかけとして建築や都市の空間のもつ「その場らしさ」を共有していくためのプログラムを企画・展開している。日本サウンドスケープ協会理事・事務局長。千葉明德短期大学非常勤講師(現代社会論)。

池の畔の遊歩音楽会 跡地巡礼2021:ブロードキャスティングウォーク

【プロジェクト】

この池の周りで執り行われていた「不思議な儀式/遊歩音楽会」とは? 鳥越けい子と鷺野宏が、遊歩音楽会チームのメンバーをはじめこのプロジェクトにかかわってきた人々たちとの対話のなかで、2010年から2019年までの10年間にわたる遊歩音楽会の歩みを振り返り、その活動の意味を共に考えました。対話の動画データを、池の周囲に点在する10箇所の跡地を巡礼する放送番組としてまとめたプロジェクトです。

<https://www.otonoba-soundscape.com/ikenohotori/>



A Pondsideside Walk Concert/Pilgrimage 2021: Broadcasting Walk

【Project】

What was the "mysterious ceremony/walking concert" which used to be held around this pond? Keiko Torigoe and Hiroshi Washino, in conversation with the artists of Team Promenade Concert around the Pond and others who have been involved in this project, reflected on the 10-year history of this walk concert and pursued the meanings of this project. They compiled the dialogues into a style of broadcast program pilgrimaging to the 10 sites scattered around the pond.

荒木ひとみ

ARAKI Hitomi

きつねの窓

【朗読】

秋の日差しの中で皆さんにきいていただきたいお話がたくさんあります。その中から、「きつねの窓」を選びました。窓から見える景色は...

The Fox's Window

【Reading】

There are many stories that I would like to share with you in the autumn sunshine. I have chosen The Fox's Window from among them. The view seen from the window is...

大学時代に劇団の養成所に通い、その後3年劇団員として在籍。以後フリーで、シェイクスピアシアター、椿組、馬主協会、桃咲309など、小劇団の公演に参加。2007年、風詠みの会「空と海の間」上演。2008年、同会 杉並演劇祭参加。林業ボランティア団体 五反舎演劇部として2017年～2019年まで、トロールの森に参加。



オンドズ

Ondoz

オンドズ1号の橋本フサヨとオンドズ2号の奥秋亜矢で活動。トロールの森のほか、保育園にも出前音頭しています。



踊らにやソソソ!

【盆踊り】

トロールの森名物「西萩案内音頭」「耕せ どりょうおじさん音頭」「酪農音頭」を、みんなで楽しく激しく離れ離れになって踊りましょう。

Dancing Fool!

【Bon Festival dance】

Let's dance to the well-known songs of Trolls in the Park, Nishi Ogi Annai, Tagayase Dojo Ojisan, and Rakuno, enjoying ourselves while standing apart from one another.



カワムラアツノリ

Atsunori Kawamura

学生演劇→黒テント養成所→ダンスとか身体表現系→演劇回帰の一面も→演劇ともダンスともどっちつかずで→今に至る パフォーマンスグループ「初期型」主宰



動くべきとき動いて、そうでないときは動かない

[ダンスとトーク]

即興で踊り、しゃべります。観客ともしゃべります。他者とのコミュニケーション、自分自身とのコミュニケーションでダンスを育みます。

Move when you need to, be still when you don't

[Dance and talk]

I will dance and talk while improvising. I will also talk with the audience. I aim to nurture dance through communication with others and with myself.

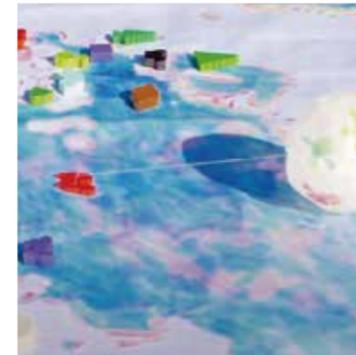
写真・小山鏡子



小山 このか

KOYAMA KONOKA

一児の母。子供心やマイノリティに着目し、作品を通して、小さな声の可視化を目指す。東京大学大学院に所属し、自閉症の弟との経験から、当事者研究を行う。東大寺や丸ビルでの展示や、フジテレビ『さんまの東大方程式』などメディアに多数出演し、活動中。



息風船

[インスタレーション、ワークショップ]

自身で創作した球を地図へと投げかける。コロナ渦で世界を巡れない今、観光や冒険を疑似体験し、現在の環境と向き合い、他者と寄り添う。

Breath Balloons

[Installation and workshop]

A ball I created is cast to the map. At a time when touring the world is not possible due to the coronavirus, we can simulate sightseeing and adventure by turning to our surroundings, and by being close to others.



このめ

conome

春の季語“木の芽”に倣い、身体感覚を芽吹かせる場をつくるのがモットー。世の中の現象を体現するようなダンス作品創作と、五感をテーマにしたワークショップを開催。2018年より東京都にて活動を本格化。貴方とダンスで繋がりたいという想いで活動中。



忘れられた人たちの遊び

[パフォーマンス、ワークショップ]

“忘れられた人たち”とは、過去に出会ったが今は交流がない人たち、記憶の中にいる人たち、亡くなった人たち、先人たち、を指します。期間中、お面や布に色を塗るワークショップを開催します。後日、それらが他の人にパフォーマンスで使われるという事を通して、日をまたいだ人と人との交流を生みます。

Playing with forgotten people

[Performance and workshop]

In this workshop, we will make things to transform our appearance. Join us and play with the people you have forgotten by giving yourself an extraordinary makeover.



さくらアリス

Sakura Alice

西オーストラリア州、パース生まれ、多摩美術大学修士課程絵画専攻卒業。現在東京藝術大学グローバルアート専攻に在籍。映像、インスタレーション、ミックスメディア、参加型イベント、パフォーマンスなど様々な形式を通して表現をする。



さくら生花リレー2021

[パフォーマンス]

東京オリンピック2021年に伴って「さくら生花リレー」を開催。新型コロナウイルス感染防止に必要な対策に注意しながら、友情、花の多様性、自然、都市、ランニングなどを奏いでいます。

Sakura Torch Relay 2021

[Performance]

The Sakura Torch Relay is a happening occurring in conjunction with the 2021 Tokyo Olympic games. The relay celebrates friendship, diversity of flowers, nature, the city, and running in different locations, whilst also taking the necessary precautions regarding the COVID-19 pandemic.



初期型

Primal Type

2000年結成。ダンスと演劇をします。モットーは「愛すべきバカ」。ポップな前衛を心がけております。



ディコトマ

[身体表現]

2つに分かれたもの、二律背反、分かれ道、向こう側とこちら側、自分の影、のようなもの。

Dichotomum

[Performance]

Something resembling two separate things, a paradox, a fork in the road, this side and the other side, one's own shadow.

写真・小山鏡子



武井よしみち+吉川陽一郎

Takei Yoshimichi + Yoshikawa Youichiro

武井よしみち

1953年北海道生。日常生活の根幹をなす「歩行」を表現の軸に置いて活動している。パフォーマンスでは、足の動きを「数字や拍や声」と連動し、そこで発生する「音のリアルな振動」をライブ空間に提出している。

吉川陽一郎

1955年鹿児島生。1980年多摩美術大学彫刻学科を卒業。1982年より「金属、木、石、水」などを使った立体作品を制作、2008年頃より「自分の身体」と「制作した道具の様な作品」との間に生まれるアクションを提示する活動が続ける。



足が耕す表現の世界 第8弾

「二人の地球の歩き方」

[パフォーマンス/アクション]

車輪が付いた2mのパイプを吹きながら歩く武井よしみちと、重さ1kgの鉄球で直径10mの大きな円を描きながら半日歩く吉川陽一郎のコラボレーション。

A World of Expression Cultivated by Feet Volume 8

Two Walkers on the Earth

[Performance/action]

A collaboration between Takei Yoshimichi, who walks while blowing a wheeled two-meter pipe, and Yoshikawa Yoichiro, who walks for half a day while drawing a large circle ten meters in diameter with an iron ball weighing one kilogram.



ぜんぶくトリヲ+

かぼーれかぼーれよいとな

Zenpuku Trio + Kappore, Kappore, Yoitona

ぜんぶくトリヲ

パントマイミストの鈴木秀城と橋本フサヨのマイムユニット。かぼーれかぼーれよいとなは、橋本フサヨ率いる善福寺のかっぱれグループ。

橋本フサヨ

パントマイムを清水きよしに師事。桃川流江戸かっぱれを家元桃川亜紅に師事。自作自演のオリジナルティーあふれる作品で活動中。

鈴木秀城

東京マイム研究所にて並木孝雄に師事。橋本フサヨ氏と「ぜんぶくトリヲ」を組み、トロールの森に参加すること多数。「いのちのオンパレード」、「タロウ」を発表。



いのちのオンパレード 大酒のみ

[パントマイムと舞踊による野外劇]

ナイジェリアの古典文学「ヤシ酒飲み」に発想を得、一人の大酒飲みが、死んでしまった杜氏を探す旅に出る冒険譚。日本の昔々のあるところの話として、公園を森にみたく展開します。伝統ある踊りの江戸芸かっぱれも見ものです。

Drunkard: A Parade of Life

[Pantomime and Kappore Dance]

An adventure story about a heavy drinker who goes on a journey to find his beloved friend, a renowned winemaker. Kappore Kappore Iyotona will also make a special appearance.



東京バンドネオン倶楽部

Tokyo Bandoneon Club

東京バンドネオン倶楽部は、1994年の設立以来アルゼンチン・タンゴを演奏する20名の団体。世界的なバンドネオン奏者小松亮太氏の指導を仰ぎ、毎年都内のホールでコンサートを開催。その他、高齢者施設などで演奏。海外では韓国公演を2回経験。



タンゴ・ライブ

[音楽演奏]

アルゼンチンタンゴの代表的な蛇腹楽器バンドネオン数台と、ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、そしてタンゴダンサーのアンサンブルで秋の公園をノスタルジックに染め上げます。生演奏ならではのタンゴのリズムとロマンチックな世界観をお楽しみください。

Tango Live

[Music Live]

Together with the bandoneons, the musical instrument representative of Argentinian Tango, an ensemble consisting of piano, violin, cello and the dancers will transform the autumn park to a nostalgic stage. Enjoy the distinctive rhythm and the romantic world of tango!



ナイトスキップ

NightSkip

2011年、震災後をきっかけに活動。経産省一周、霞が関、明治公園国立競技場、宮下公園、築地場外市場など土地の話を聴き地を踏むことを様々な人と行う。舞踏家の菊地びよが発起人で呼びかけ。



旅するスキップ …ここどこかの間 その行き来

[ムーヴメント]

人はいつスキップするようになったかな？ 弾んで進むと何かちがう?! できなくても大丈夫。スキップから見えてくるあれこれ。



A traveling skip …between here and somewhere else, back and forth

[Movement]

When did people first learn to skip? Does it feel different when hopping forwards?! It's okay if you can't. You can see this and that through skipping.

三毛猫の音読屋(洲永 敬子)

The Calico cat's Reading Room (Sunaga Keiko)

太宰 治作「葉桜と魔笛」

[朗読]

太宰治作『葉桜と魔笛』は、ひとりの老婦人によって語られる姉妹の物語。瀕死の妹に届いた恋文の秘密とは？ なにが真実か感じとって下さい。

“Young Cherry Leaves and the Magic Flute” by Osamu Dazai

[Reading]

The work in the title by Osamu Dazai is a story of two sisters told by an old woman. What is the secret of the love letter sent to the dying sister? Discover the truth for yourself.

2008年より西荻窪在住。からだと息で言葉を伝える朗読を身近な場所で行う。「かぼーれ・かぼーれ・よいとな」のメンバーでもある。



ハルカバード

haruka bird

オーストラリア育ち。2003年から様々なアート活動始める。舞、唄、絵、身体即興、弾き語り、エアリアルパフォーマンス。2011年舞踏家と共に箏で即興ライブツアーをドイツで行う。2012年 瞑想を始める。2015年 身体も即興し始める。すべての人に自分の中のキラキラを見つけてほしい。

Koji.Iijima 2021



小さな光の粒

[エアリアルパフォーマンス]

小さな光の粒がさまよっていました 暗闇の中を 来る場所を間違えたのではないかとずっと思いながら 馴染めないことが悲しくて安らぐ場所を探すのですが見つかりません どこを探してもなんか違うのです そしてやっと見つけました それは自身の心の中でした心の奥深くには たくさんの光の粒がキラキラと輝き呼吸していました。



The little spark of Light

[Aerial performance]

Once upon a time, a little spark of light found itself in utter darkness. It felt so lost and wanted to go home. But it did not know where home was. It searched everywhere it could. And finally one day found home. It was within, deep inside the heart of the little spark of Light itself where Infinite bliss breathed.

桃井第四小学校の児童たちと RITENUTObytac

Students of MOMOI Daishi Elementary School & RITENUTObytac

RITENUTObytac
衣装デザイナー。ロンドン芸大卒。帰国後、cm.MV.映画、舞台等の衣装を手がけ衣服を媒体に芸術作品を発表。

Staff

Photo Takeshi Sakamoto omeyama Mio Tsuneoka	Model Hii Kana Tsuku 吉堂蘭 Hiore Satsuki Yuri Tohko	Musician Yasuko Ishibiki
Film artist Yuki	Support Mifuyu Tsuchimoto Anri	Support Mashuu Flower Ferantracing
H&M Moe Kasu Kazumi Nanbu Mariko Yumi	Performance Ayumu Sakumoto	



The Possibilities of Children —Upcycle Fashion Show

[パフォーマンスショー]

桃井第四小学校の児童たちとのワークショップにて制作した衣装を着たモデルによるファッションショー 善福寺公園に展示してある芸術作品との共作 アートとファッションの融合 衣装の素材は不要になった衣服、廃材。アップサイク的なファッションショーでもあります。



The Possibilities of Children —Upcycle Fashion Show

[Performance show]

An upcycle fashion show featuring models wearing costumes made from discarded clothes and scrap wood created by students of MOMOI Daishi Elementary School.

表現集団りでんぷしよん

Ledemqion

身体表現という「遊び道具」を通して、人間や時代、世界との繋がりを表す表現集団。演劇やパフォーマンス、ワークショップなど開催。

あなたのいきをおしえて

【身体表現】

あの公園の池には、半分おさかな、半分にんげん。恥ずかしがりやが住んでいる。きみの息のすいかたを、教えてくれたら友だちになってくれるかも？…お子様から大人まで楽しめる20分程度の野外身体表現です。

Tell me how you breathe

【Performance】

There is a fisherman in this park. Can you teach him how you "breathe"? A twenty-minute outdoor performance that can be enjoyed by children and adults alike.



野外/まちなか つなぐ企画

飯島 祐奈

Yuna Iijima

日程 11/3(水・祝)~23(火・祝)
会場 都立善福寺公園(上池)、
旧本橋泰造商店

私空間

【彫刻】 石・ベニヤ板

「パブリックな空間にわたしのパーソナルスペースをつくることで、◎(輪)の線の内と外で全く違う世界の体験できる手順。

- ①パブリックな空間にわたしが入り込みたい◎の空間を設置する。
- ②わたしが居るときは、その◎の中に一緒に入りたい人を招き入れる。わたしが不在の時はこっそり入る。友だちを招いても良い。
- ③わたしの私空間を共有して楽しむ。

1995年東京都に生まれる。2021年女子美術大学 大学院 美術研究科 美術専攻 博士前期課程 立体芸術研究領域を修了。主に石を使って「空間における人と彫刻のコミュニケーションのカタチ」をテーマに制作。



インタビュー、公演動画配信

参加アーティストのインタビューやパフォーマンスをYouTubeで配信。
協力: ラジオぱちぱち、青山学院大学 鳥越けい子研究室

Interviews and performance videos

Videos of artists' interviews and performances will be made available on YouTube.
Cooperation: Radio Pachi Pachi, Aoyama Gakuin University, Keiko Torigoe Lab.

ラジオぱちぱち

善福寺を拠点に2001年より活動しているグループ。ミニFMからスタートし、現在はYouTubeで配信。月に一度の公開放送のほか、さまざまな活動を展開。トロールの森には2008年より参加。

青山学院大学 鳥越けい子研究室

研究室のテーマは「サウンドスケープ(音風景)から読む都市/音・音楽とまちづくり」。「都市のみえない資源」「土地の記憶」を探るための方法を学びながら「アートとまちづくり」に関するさまざまな活動を展開している。

野外/まちなか つなぐ企画

桃四コミュニティスクール MOMOSHI Community School

日程 11/3(水・祝)~23(火・祝)
会場 都立善福寺公園(上池)、
JR西荻窪駅付近から都立善福寺公園付近

おでかけトロール

【まちかどアート】 木

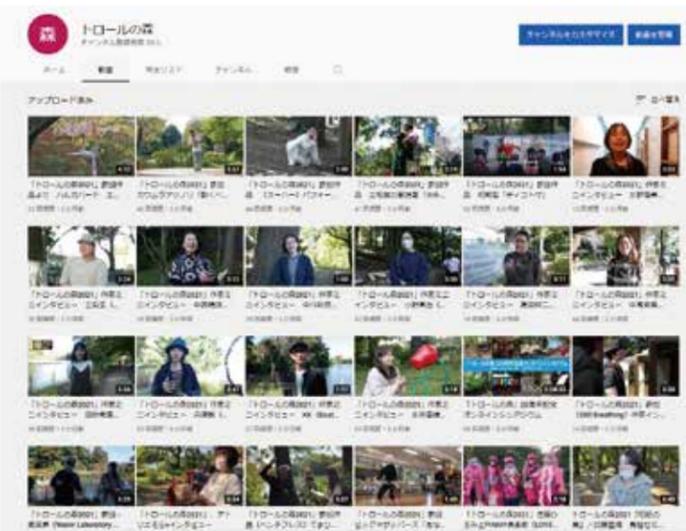
西荻窪駅からバス通りへとびるトロールたちが、公園内へと続き、森でかくれんぼ。

'Odekake'(Adventurous) TROLLS

【Street Corner Art】 Wood

Trolls that can be seen from Nishi-Ogikubo Station all along the bus route will continue on into the park, playing hide-and-seek in the woods.

2014年より桃井第四小学校の4年生が取り組んでいるインスタレーション。春のトロールとして善福寺公園下池の林に展示された作品が西荻窪駅周辺から善福寺公園にいたるまちなかの店先や公園のバス停付近に「おでかけ」。



<https://www.youtube.com/channel/UCG1YDk35Oq-GtQd3ihraGpA>



kosaten+レンカ

kosaten+renka

日程・行程

- 11/7(日) ゆうゆう善福寺館(ワークショップ)
→まちなかコミュニティ西荻みなみ
- 11/20(土) あなたの公-差-転(ワークショップ)
→都立善福寺公園(上池)

あうとぶっと

[移动式インストール・ワークショップ・ダンス]

多機能型の移動式モノ図書館が街に出て地域の人々との配達サービスを通して新たな繋がりを育みます。公園や道で止まったら舞台になり、ダンサーのレンカさんのコラボレーションとして身体に飾るオブジェ+作り+ダンスワークショップを開催しました。

output

[Mobile Installation/dance/workshop]

A collaboration between community space kosaten and dancer renka in which participants created unique body accessories and explored modes of physical/dance expression whilst parading a mobile "library of things" through the park and surrounding town, exchanging objects with passers-by.

善福寺にあるコミュニティスペース。あらゆる方向に向かって人が一時的でもクロスするkosatenは、隣にいる人は自分と異なる国籍、ことば、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい、視点、価値観をもつ前提で、「差異」を大事にする空間。ここはあらゆる違いを認める場所です。



佐藤ひろみとPINMY倶楽部

Sato Hiromi and PINMY Club

日程 11/3(水・祝)

会場 杉並区立桃井第四小学校
→JR西荻窪駅
→都立善福寺公園(上池)

佐藤ひろみとPINMYの世界 ~LOVE WALKING~

[ウォーキングパフォーマンス]

自作のピンクの衣装を着て街中を自由にWalking Performance。人と人との繋がりが広がります。ピンク色の衣装を身に着けたモラルさんは明るい気持ちになり、気持ちが解放されます。街中の人々、善福寺公園のアーティストとコミュニケーションします。

佐藤ひろみ 埼玉県所沢市在住。ピンク色を基調とした作品をつくりつづけている。平面、立体、インストール、などの表現で女性の性と性を追求している。PINMY倶楽部ではピンクの衣装でウォーキングパフォーマンスを行っている。毎年個展。現代美術日韓展、NAU展会員。日本国内、NY、中国、韓国でパフォーマンス。AJAC展代表。

Sato Hiromi and the World of PINMY - LOVE WALKING

[Walking performance]

Wearing pink costumes and breathing in the fresh air of Walking Trolls in the Park, the PINMY Club will energetically walk the city!



まちなか×アート

Art Program Around Nishi-Ogikubo

西荻窪から善福寺公園周辺までをエリアに展開するまちかどアートや公演など多彩なプログラム!

A diverse program of events, from art on street corners to public performances taking place in the area between Nishiogikubo and Zenpukuji Park!

西荻窪～善福寺周辺

野外/まちなかつなぐ企画

- | | | | | |
|------------------|-------------|-------------------------------|--------------|-------------|
| 28 飯島祐奈 | 1 ハートフルさかもと | 5 なめらかカワイ音楽事務所 | 9 高野由美 | 12 西荻たんけん隊 |
| P26 | P29 | P31 | P33 | P34 |
| 29 桃四コミュニティスクール | 2 KUBOT© | 6 ナイトスキップ | 10 遊工房アトスペース | 13 マッシュフラワー |
| R kosaten+レンカ | 3 水野理美 | 7 ThomYoshida & RITENUTObytac | P34 11 0円均一 | |
| P27 | P30 | P32 | | |
| S 佐藤ひろみとPINMY倶楽部 | 4 亀本光生 | 8 RITENUTObytac | | |

まちなか関連企画

杉並区立桃井第四小学校

- | | | | | | |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------|--|---------|-----------------|
| 12 ビッグ☆ザッパーズ | 14 Music & Voice 'Kotokoto' | 16 佐藤未来 | ワークショップ (授業内) 5 空等 浩 (ボムライウエスト) | 13 小野真由 | P RITENUTObytac |
| P35 | P36 | P37 | P38 | | |
| 13 武井よしみち+吉川陽一郎 | 15 佐々木樹 | J ぜんぶくとりゃ M 6 ナイトスキップ | ワークショップ (事務局主催) 15 佐々木樹 | 16 佐藤未来 | |
| | | | ワークショップ (事務局主催) 27 T&E A アトリエそら+ (プラス) | | |

